

しんしろまちなか 映画祭2018

2018.3/3 [sat] → 4 [sun]

料金：前売券500円／本 当日券800円／本
場所：新城文化会館小ホール
新城市字下川1-1

3/3 [sat]
ローマの休日
開場12:30／上映13:00～



3/3 [sat]
嵐を呼ぶ男
開場15:15／上映15:30～



3/4 [sun]
シェーン
開場9:30／上映10:00～



3/4 [sun]
あん
開場12:30／上映13:00～



■主催：新城まちなか映画祭実行委員会

■後援：新城市教育委員会・新城中部区長会・新城市老人クラブ連合会・[ティーズ]・(株)エフエム豊橋・新城ロータリークラブ・新城ライオンズクラブ

■協力：とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会

■発売開始：平成30年1月4日（木）から市内各所にてチケット発売開始

■販売所：新城文化会館（0536-23-2122）・ピアゴ新城店（0536-23-3111）

■問合せ先：新城まちなか映画祭実行委員会事務局

【新城市宇東入船6番地1 TEL.0536-23-7693 E-Mail:shinshiro-jichi@city.shinshiro.lg.jp】

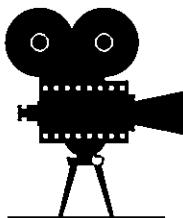
入場
無料

2018.2/28 [wed] → 3/4 [sun]

関連企画 昭和懐かし映画ポスター展&新城まちなか写真展

■場所：新城文化会館展示室 ■午前9:30～午後6:00（3月4日のみ午後4:30まで）

■協力：佐々木順一郎氏（とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会顧問）・しんしろ城下町の会



しんしろまちなか映画祭2018

**開催
趣旨**

人生100年時代といわれるよう、医療の進歩により日本人の平均寿命は80歳を超えるようになりました。次に問われているのは、健康寿命の延長です。いつまでも元気に住み続けられることは、自分にとって家族にとっても社会にとっても望ましいことです。この健康寿命を延ばすには、外出をして、人と会話をすることが大切だと言われます。そこで今回、地域の高齢者のみなさんが集まり、楽しみ、おしゃべりする機会として、映画祭の開催を企画しました。若かりし頃に心躍らせた作品をお楽しみいただくとともに、懐かしい映画ポスターやまちなかの写真の展示を通じて、映画談議や思い出話に花を咲かせていただければと思います。そして、まだまだ元気なみなさんのお力を、この地域のこれからのかたちづくりにお寄せいただければ幸いです。

上映作品

「ローマの休日」

1953年 パラマウント 118分
監督:ウイリアム・ワイラー
出演:グレゴリー・ペック
オードリー・ヘプバーン

ローマに滞在中の某小国の王女アンは公務に疲れて、ある夜自由を夢見て公邸から脱走。偶然出会った新聞記者ジョーとの間に恋が芽生える、ラブ・ロマンスの永遠の名作。テレビの泉や真実の口などローマの名所が随所に登場する。



「嵐を呼ぶ男」

1957年 日活 100分
監督:井上梅次
出演:石原裕次郎/北原三枝

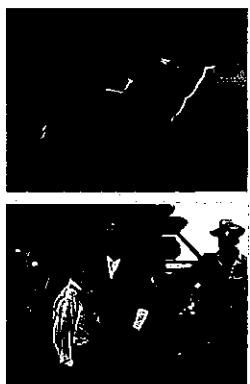
石原裕次郎の代表作にして日本映画黄金時代を象徴する作品。ジャズ界を舞台に、流しの若者がトップドramaーにのし上がっていき業界の裏側を描いた青春映画。スティック片手に「おいらはドramaー」と唄いだす名シーンは痛快。



「シェーン」

1953年 パラマウント 118分
監督:ジョージ・ステイーヴンス
出演:アラン・ラッド/ヴァン・ヘフリン

南北戦争後のアメリカ西部を舞台に、流れ者シェーンと開拓民一家との交流や悪徳牧場主との決闘を描いた、西部劇史上十指に入る傑作。ジョーイ少年の声が山並みこだまするラストシーンは必見。第26回アカデミー賞撮影賞を受賞。



「あん」

2015年 エレファント 118分
監督:河瀬直美
出演:樹木希林/永瀬正敏

どら焼き店で働く元ハンセン病患者の老女が、尊厳を失わず生きようとする姿を丁寧に紡ぐ人間ドラマ。樹木希林が演じる主人公徳江の故郷として、新城市にて撮影が行われた。第68回カンヌ国際映画祭・「ある視点」部門オープニング作品。



発売開始:2018年1月4日(木) 市内各所にてチケット発売開始

料 金:前売券500円/本 当日券800円/本

販売所

新城文化会館(0536-23-2122)・ピアゴ新城店(0536-23-3111)

問合せ先

新城まちなか映画祭実行委員会事務局

【新城市字東入船6番地1 TEL.0536-23-7693 E-Mail:shinshiro-jichi@city.shinshiro.lg.jp】